

学校名	蕨市立 小学校	記入者名	
児童の現状			
育てたい児童像 (修了時目標)			

生徒の達成状況をA B C Dで評価↓

領域	できるようになること	取扱単位	評価方法・評価時期	評価
聞くこと				A
読むこと				
話すこと (やり取り)				
話すこと (発表)				
書くこと				

学年末時点での「育てたい児童像（修了時目標）」の達成状況及び次年度に向けての方策等の引き継ぎ事項

学校名	蕨市立	中学校	記入者名
育てたい生徒像 (修了時目標)			

生徒の達成状況をA B C Dで評価↓

領域	できるようになること	取扱単元	評価方法・評価時期	評価
聞くこと				
読むこと				
話すこと (やり取り)				
話すこと (発表)				
書くこと				

学年末時点での「育てたい生徒像（終了時目標）」の達成状況及び次年度に向けての方策等の引き継ぎ事項

--

学校名	蕨市立	中学校	記入者名	
生徒の現状				

育てたい生徒像 (修了時目標)	
--------------------	--

生徒の達成状況をA B C Dで評価↓

領域	できるようになること	取扱単元	評価方法・評価時期	評価
聞くこと				
読むこと				
話すこと (やり取り)				
話すこと (発表)				
書くこと				

生徒の現状 (今年度の県学調及びGTECの結果を踏まえて記述する)	【今年度】県学力学習状況調査				【今年度】GTEC							
		聞くこと	読むこと	書くこと	全体		聞くこと	読むこと	読むこと	話すこと	4技能スコア	CEFR-J
	自校					自校						
	蕨市					蕨市						
	埼玉県					全国						

学年末時点での「育てたい生徒像（終了時目標）」の達成状況及び次年度に向けての方策等の引き継ぎ事項

--

学校名	蕨市立	中学校				記入者名						
生徒の現状 (前年度の県学調及びGTECの結果を踏まえ記述する)	【昨年度】埼玉県学力・学習状況調査					【昨年度】GTEC						
		聞くこと	読むこと	書くこと	3技能スコア		聞くこと	読むこと	読むこと	話すこと	4技能スコア	CEFR-J
	自校					自校						
	蕨市					蕨市						
	埼玉県					全国						

育てたい生徒像 (修了時目標)												
--------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

生徒の達成状況をA B C Dで評価↓

領域	できるようになること	取扱単元	評価方法・評価時期	評価
聞くこと				
読むこと				
話すこと (やり取り)				
話すこと (発表)				
書くこと				

生徒の現状 (今年度の県学調及びGTECの結果を踏まえ記述する)	【今年度】県学力学習状況調査					【今年度】GTEC						
		聞くこと	読むこと	書くこと	3技能スコア		聞くこと	読むこと	読むこと	話すこと	4技能スコア	CEFR-J
	自校					自校						
	蕨市					蕨市						
	埼玉県					全国						

学年末時点での「育てたい生徒像（終了時目標）」の達成状況等

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

学校名	茨城市立 小学校	記入者名	
児童の現状	5年生の児童は3、4年生次に週1時間、HRTとALTによる外国語活動の授業を受けている。年度当初に行ったアンケートで「英語が分かるようになりたい。」と回答しており、多くの児童は、外国語活動を楽しんでいると肯定的な回答が返ってきた。一方で「英語表現による言葉の意味が分からないからと黙っていたり、恥ずかしがったりする」という声も聞かれた。また、英語で話すことには消極的な児童も一定数見られる。		
育てたい児童像 (修了時目標)	外国語(英語)科として育てたい児童像を具体的に記載する		

該当する学年をプルダウンより選択

年度当初時点の児童の外国語学習における現状を記載する

外国語(英語)科として育てたい児童像を具体的に記載する

生徒の達成状況をA B C Dで評価↓

領域	できるようになること	取扱単元	評価方法・評価時期	評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	ゆっくりはっきりと事柄について、簡単にできる。		「ペーパーテスト」(〇月)		[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、自分のことや身近で簡単な事柄についての簡単な語句や基本的な表現、日常生活に関する身近で簡単な事柄についての具体的な情報を聞き取ったり、日常生活に関する身近で簡単な事柄についての短い話の概要を捉えたりする技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常会話や社会的な話題についてはっきりと話される文章を聞いて、必要な情報や概要、要点を捉えている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に英語で話されることを聞こうとしている。
	ゆっくりはっきりと簡単な事柄について、		「ペーパーテスト」(〇月) 「パフォーマンステスト」(〇月)		[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、自分のことや身近で簡単な事柄についての簡単な語句や基本的な表現、日常生活に関する身近で簡単な事柄についての具体的な情報を聞き取ったり、日常生活に関する身近で簡単な事柄についての短い話の概要を捉えたりする技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常会話や社会的な話題についてはっきりと話される文章を聞いて、必要な情報や概要、要点を捉えている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に英語で話されることを聞こうとしている。
	ゆっくりはっきりと話され、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を捉えることができる。		「パフォーマンステスト」(〇月)		[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、自分のことや身近で簡単な事柄についての簡単な語句や基本的な表現、日常生活に関する身近で簡単な事柄についての具体的な情報を聞き取ったり、日常生活に関する身近で簡単な事柄についての短い話の概要を捉えたりする技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常会話や社会的な話題についてはっきりと話される文章を聞いて、必要な情報や概要、要点を捉えている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に英語で話されることを聞こうとしている。
読むこと	活字で書かれた文字を読み取ることができる。				[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、活字で書かれた文字を識別し、その読み方(名称)を発音する技能を身に付けている。音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を読んで意味が分かっている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、活字で書かれた文字を識別し、その読み方(名称)を発音している。音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を読んで意味が分かっている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に英語で書かれたことを読んで意味を分かろうとしている。
	CAN-DOリストに関する内容を取り扱う単元を記入する。 ※「取扱単元」は評価をとるそれ以前の単元の指導を踏まえていることを前提としているので、それまでの単元すべてを記載していない。				[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、活字で書かれた文字を識別し、その読み方(名称)を発音する技能を身に付けている。音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を読んで意味が分かっている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、活字で書かれた文字を識別し、その読み方(名称)を発音している。音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を読んで意味が分かっている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に英語で書かれたことを読んで意味を分かろうとしている。
話すこと (やり取り)	基本的な表現を用いて指示、依頼をしたり、それらに応じたりすることができる。				[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、指示、依頼をしたり、それらに応じたりする技能を身に付けている。日常生活に関する身近で簡単な事柄についての自分の考えや気持ちなどを伝え合ったり、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄などについて、その場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができる。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、指示、依頼をしたり、それらに応じたりしている。日常生活に関する身近で簡単な事柄についての自分の考えや気持ちなどを伝え合ったり、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄などについて、その場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができる。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に英語を用いて伝え合おうとしている。
	日常生活に関する身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝えることができる。				[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常生活に関する身近で簡単な事柄や自分のことについて話す技能を身に付けている。身近で簡単な事柄についての自分の考えや気持ちなどを話す技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常生活に関する身近で簡単な事柄や自分のことについて話している。身近で簡単な事柄についての自分の考えや気持ちなどを話している。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に英語を用いて話そうとしている。
話すこと (発表)	日常生活に関する身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝えることができる。				[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常生活に関する身近で簡単な事柄や自分のことについて話す技能を身に付けている。身近で簡単な事柄についての自分の考えや気持ちなどを話す技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常生活に関する身近で簡単な事柄や自分のことについて話している。身近で簡単な事柄についての自分の考えや気持ちなどを話している。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に英語を用いて話そうとしている。
	作成上の留意点 ・学年ごとに作成する。 ・黄色のセル→4月当初に記入する。 ・緑色のセル→年度途中で随時記入する。 ・桃色のセル→学年末に記入する。 ・同学年を複数の教員で担当している場合はこのシートを共有するなどして、評価に関する情報を共有しておく。 ・作成にあたっては、教科内で十分議論し、意思疎通を図る。 ・毎年、前年度の実践をもとに、CAN-DOリストを含めて、見直しを行う。				[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常生活に関する身近で簡単な事柄や自分のことについて話す技能を身に付けている。身近で簡単な事柄についての自分の考えや気持ちなどを話す技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常生活に関する身近で簡単な事柄や自分のことについて話している。身近で簡単な事柄についての自分の考えや気持ちなどを話している。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に英語を用いて話そうとしている。
書くこと	書くこと				[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、大文字、小文字を活字で書いたり、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写したりする技能を身に付けている。自分のことや身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書いている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、大文字、小文字を活字で書いたり、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写したりしている。自分のことや身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書いている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に英語を用いて書き写したり書いたりしようとしている。
	年度当初に設定した「育てたい児童像(修了時目標)」の達成状況について記載するとともに、次年度に向けての方策等を記入する。引き継ぐことを考えて、次年度の担当に向けた言葉となるよう記載する。				[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、大文字、小文字を活字で書いたり、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写したりする技能を身に付けている。自分のことや身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書いている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、大文字、小文字を活字で書いたり、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写したりしている。自分のことや身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書いている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に英語を用いて書き写したり書いたりしようとしている。

生徒に身に付けさせたい力や英語のできるようにさせたいことを、4技能5領域の育成や言語材料の習熟の観点から、「取扱単元」と「評価方法・評価時期」を具体的に記述する。

6年生はこの項目も入るので注意

単元末や学期末、学年末等に、生徒の達成状況について教員が見取り、プルダウンよりA B C Dのいずれかを選択する。児童の自己評価を参考にしてもよいが、最終的には教員が判断する。
例) A: 7割以上 B: 4~7割 C: 2~4割 D: 2割以下
・各学年の達成状況をもとに、「指導が十分であったか」「CAN-DOの設定が適切だったか」について振り返り、次年度のCAN-DOリストの作成や指導改善に役立てる。

作成上の留意点
・学年ごとに作成する。
・黄色のセル→4月当初に記入する。
・緑色のセル→年度途中で随時記入する。
・桃色のセル→学年末に記入する。
・同学年を複数の教員で担当している場合はこのシートを共有するなどして、評価に関する情報を共有しておく。
・作成にあたっては、教科内で十分議論し、意思疎通を図る。
・毎年、前年度の実践をもとに、CAN-DOリストを含めて、見直しを行う。

6年生はこの項目も入るので注意

学年末時点での「育てたい児童像(修了時目標)」の達成状況及び前年度に比べての達成状況について記載するとともに、次年度に向けての方策等を記入する。引き継ぐことを考えて、次年度の担当に向けた言葉となるよう記載する。

ALTの活用等をおし、多くの児童が外国語によるコミュニケーションにおいて自信を持って発言できるよう働きかけ、言語活動等に取り組むことができていたが、依然として英語表現による言葉の意味が分からないからと黙っていたり、恥ずかしがったりする児童もいるなど、英語で話すことには消極的な児童も一定数いるなど、学習に取り組む姿勢の二極化が見られる。英語表現等、個々の課題に合わせてデジタル教科書も活用させたりするなど、主体的に学習に取り組ませたい。

学校名	蕨市立	中学校	記入者名		
生徒の現状 (前年度の県学力調査及びGTECの結果を踏まえ記述する)	【昨年度】埼玉県学力・学習状況調査			【昨年度】GTEC	
	聞くこと	読むこと	書くこと	3技能スコア	聞くこと
	読むこと	書くこと	話すこと	4技能スコア	CEFR-J
	自校				自校
	蕨市				蕨市
埼玉県				全国	
育てたい生徒像 (修了時目標)	外国語によるコミュニケーションにおける単なる情報や考えなどを理解したり表現し				

前年度の県学力・学習状況調査及びGTECの結果を記載するとともに、年度当初時点の生徒の外国語学習における現状を文章で記載する。
※3年生のみ

外国語（英語）科として育てたい生徒像を具体的に記載する

生徒の達成状況をA B C Dで評価↓

領域	できるようになること	取扱単元	評価方法・評価時期	評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	はつきりと話すスピーチ等を聞く		「ペーパーテスト」(〇月)	A	[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題についてはつきりと話される文章を聞いて、必要な情報や概要、要点を捉えている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的に英語で話されることを聞こうとしている。
	はつきりと話すスピーチを聞く		「ペーパーテスト」(〇月) 「パフォーマンステスト」(〇月)	B	[技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的话题や社会的な話題についてはつきりと話された文章等を聞いて、その内容を捉える技能を身に付けている。		
	は短	7, SA3	「パフォーマンステスト」(〇月)	C			
読むこと	クラスメートが書いたポスターやまとまりのある物語などを読んで、その概要を捉えることができる。	3, SA1, LR1			[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について書かれた短い文章を読んで、必要な情報や概要、要点を捉えている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手に配慮しながら、主体的に英語で話されることを読もうとしている。
	クラスメートの町紹介やまとまりのある説明文を読んで、その要点を捉えることができる。	U5, SA2, LR2 U7, SA3,			[技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的话题や社会的な話題について書かれた短い文章等を読んで、その内容を捉える技能を身に付けている。		
話すこと (やり取り)	自分やクラスメートの予定や将来の夢などについて語句や文を用いて即興で伝え合うことができる。				[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項について理解している。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝え合っている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的に英語を用いて伝え合おうとしている。
	クラスで人気のあるものなどについて、事実や自分の気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝手からの質問に答えたりすることができる。				[技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的话题や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝え合う技能を身に付けている。		
話すこと (発表)	自分やクラスメートの町のおすすめの場所などにえたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができる。				[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて話している。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて話そうとしている。
	作成上の留意点 ・学年ごとに作成する。 ・黄色のセル→4月当初に記入する。 ・緑色のセル→年度途中で随時記入する。 ・桃色のセル→学年末に記入する。 ・同学年を複数の教員で担当している場合はこのシートを共有するなどして、評価について情報を共有しておく。 ・作成にあたっては、教科内で十分議論し、意思疎通を図る。 ・毎年、前年度の実践をもとに、CAN-DOリストを含めて、見直しを行う。				[技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的话题や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、またはそれらを正確に用いて書く技能を身に付けている。		
書くこと	〇語程度のまとまりのある文章を書くことができる。	SA2	「パフォーマンステスト」(〇月) 「ペーパーテスト」(〇月) 「振り返り」(〇月)		[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、書いている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて書こうとしている。
	自分の町のおすすめの場所などについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができる。				[技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的话题や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、またはそれらを正確に用いて書く技能を身に付けている。		

実際に授業等で実施する言語活動との関わりを検討しながら到達目標を設定し、「できるようになること」の欄にCAN-DOリストと同じ内容を記載する

CAN-DOリストに関する内容を取り扱う単元を記入する。
※「取扱単元」は評価をとるそれ以前の単元の指導を踏まえていることを前提にしているため、それまでの単元すべてを記載していない。

生徒に身に付けさせたい力や英語でできるようにさせたいことを、4技能5領域の育成や言語材料の習熟の観点から、「取扱単元」と「評価方法・評価時期」を具体的に記述する。

単元末や学期末、学年末等に、生徒の達成状況について教員が見取り、ブルダウンよりA B C Dのいずれかを選択する。児童の自己評価を参考にしてもよいが、最終的には教員が判断する。
例) A: 7割以上 B: 4~7割 C: 2~4割 D: 2割以下
・各学年の達成状況をもとに、「指導が十分であったか」「CAN-DOの設定が適切だったか」について振り返り、次年度のCAN-DOリストの作成や指導改善に役立てる。

作成上の留意点
・学年ごとに作成する。
・黄色のセル→4月当初に記入する。
・緑色のセル→年度途中で随時記入する。
・桃色のセル→学年末に記入する。
・同学年を複数の教員で担当している場合はこのシートを共有するなどして、評価について情報を共有しておく。
・作成にあたっては、教科内で十分議論し、意思疎通を図る。
・毎年、前年度の実践をもとに、CAN-DOリストを含めて、見直しを行う。

今年度の県学力・学習状況調査及びGTECの結果を記入するとともに、両調査の結果に関する分析及び生徒の現状について記載する。※2・3年生のみ

年度当初に設定した「育てたい児童像（修了時目標）」の達成状況について文章で記載する。次年度に向けての方策等を記入する。引き継ぐことを考えて、次年度の担当に向けた言葉となるよう配慮する。

学年末時点での「育てたい児童像（修了時目標）」の達成状況等

ALTの活用等とおし、多くの生徒が外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、主体的に取り組むことができていたが、社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すこと等については弱い部分が見られた。今後の自身の指導の中で、そういった内容を積極的かつ計画的に授業の中で数多く扱うよう心がけ、生徒の話す力の向上を図ってきたい。